

平成26年度第 1 回丹波市入札監視委員会議事概要

開催日及び場所		平成26年8月12日（火） 丹波市役所柏原支所 2 F 会議室		
出席者	委員	石原 俊彦 （関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授） 宮本 幸平 （神戸学院大学経営学部教授） 古賀 徹 （弁護士） 安藤 幹根 （公認会計士）		
	事務局	鬼頭副市長 足立技監兼入札検査部長 岡田入札検査室長 三方検査係長 木村		
	説明者			
内容	1 報告	(1) 平成25年度第1回委員会での指摘事項について (2) 入札・契約制度の改正について (3) 消防本部の不正事務処理事案について		
	2 議事 (1)平成25年度下半期入札・契約状況の報告 対象期間 平成25年10月1日～平成26年3月31日	(建設工事)入札：114件 落札率：85.54% 契約金額合計：1,916,512千円 (業務委託)入札：73件 落札率：76.90% 契約金額合計：157,045千円 (物品購入)入札：13件 落札率：73.98% 契約金額合計：44,627千円 (随意契約)件数：52件 契約金額合計：1,077,843千円 入札参加資格制限：1件 指名停止：1件		
	(2)抽出事案に係る入札及び契約手続き等の審議 対象期間 平成25年4月1日～平成25年9月30日	抽出件数：10件 (内訳)一般競争入札：4件 指名競争入札：3件 随意契約：3件		
	3 その他			
委員からの質問・意見それに対する回答等		質問・意見		回答
		別紙 1（1～2 ページ）		別紙 1（1～2 ページ）
委員会による意見の具申又は勧告（講評）		別紙 2		

質問・意見	回答
<p>1 報告</p> <p>(1) 平成25年度第1回委員会での指摘事項について</p> <p>入札参加者審査会で審議をする方向で進めているとのことだが、内部なので誤解のないようすべき</p> <p>(2) 入札・契約制度の改正について</p> <p>(3) 消防本部の不正事務処理事案について 議会だよりの表記は厳しいと思う。</p>	<p>・ その方向で検討を進める。</p>
<p>2 平成25年度下半期入札契約状況等</p> <p>・ 停止案件に賄賂の授受はないのか。</p>	<p>・ 報道によると、金銭の授受はないが、普段から飲み歩くなどの付き合いがあったとされている。</p>
<p>3 抽出事案に係る入札契約手続き等の審議</p> <p>・ 今回の事案抽出の考え方</p>	<p>・ 別紙2の通り。</p>
<p>(1)制限付一般競争入札 市道市原線（森文室線）舗装工事</p> <p>・ 金額が全部並び、失格と外したところが1000円だけというのは不自然ではないのか。</p> <p>・ 初めからくじ引きを前提とした入札になるのか。業者の努力で下げることができないのか。</p>	<p>・ 舗装の工種であり、業者もそれぞれ積算システムを保有しており同じ金額を算出している。また最低制限価格の計算式を公表しているため、端数処理で1,000円の差がでている。積算内訳書も公表されているので、熱心な業者はよく調査をしている。</p> <p>・ 業者の積算能力が高いため、くじ引きになる。設計額に基づいて予定価格を設定するため、意図的な最低制限価格の引き下げ（歩切）はできない。品質・賃金の確保も必要である。</p>
<p>(2)制限付一般競争入札 市道特19号線（（仮称）葛野橋）橋梁詳細設計業務</p> <p>・ 各社の応札金額に大きな差があるが、品質の確保はされているか。どちらが適正なのか。</p>	<p>・ 設計の歩掛があり、最低制限価格が設定されているため、業者が価格に合わせて応札している。成果の品質には問題はなく、検査もできている。</p>
<p>(3)指名競争入札（不調） 棚原地内配水管増径工事</p> <p>・ 予定と最低の幅が狭いため、不調となった案件で、最低と予定の設定に問題はなかったのか。不調となってその後どうなったのか。</p>	<p>・ 設定に問題はない。設計を見直して、随意契約で工事を行った。サービスの低下は起こっていない。</p>

質問・意見	回答
<p>(4)制限付き一般競争入札 神池加圧ポンプ所築造工事（不調）</p> <ul style="list-style-type: none"> どの業者も拮抗していて、わずかな差で最低制限に至っていない。最低制限にもう少しで届かないが設計の見直しはあったのか。この後どうなったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 積算の中身を変更し再度入札し落札された。見積もりによって算出される項目が多く、積算が困難な案件である。業者見積と市の見積に差があったと想像される。
<p>(5)随意契約 丹波市上下水道お客様センター関連業務</p> <ul style="list-style-type: none"> コアな事業で随意である。全体事業と、プロポーザルでの選定経緯、予定価格と落札価格の2千万円の差の影響はどうなるのか？ 応募業者1者であるが競争性が危惧される。 	<p>H26～H30の5年にわたるお客様センター窓口業務の契約である。2千万円の差額については問題の発生はない。少し業務内容が増えているあるが、これまでの業者が請け負っている。本業務は広く一般に募集をした。前は応募が2者あったが、今回の応募は1者であった。上下水の業務ができるところがまだ少ないようだ。しかし、各地で上下統合が進んでいるため、今後業者も対応が迫られている。</p>
<p>(6)制限付き一般競争入札 氷上中学校パソコン、プリンタ等購入</p> <ul style="list-style-type: none"> XP対応の金額の高い時期での入札であった。再入札までの流れはどうだったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> XP問題の時期であり、再度の入札は他の案件も含めてH26に実施した。
<p>(7)指名競争入札 屋内運動場天井落下防止対策工事实施設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 予定価格の範囲内が1者で、2位以下が倍以上の応札となっている。品質に問題はないのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> すべて終わっていないが品質に問題はない。同様の内容で9校するので効率性を発揮しているのではないかと考えている。
<p>(8)指名競争入札 丹波竜レプリカ購入</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真を資料としてつけてもらっているが、金額が高いのか安いのか分からない。金額のバラつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 見積を徴した上で設計し入札を行った。研究機関と協議し作成されている。
<p>(9)随意契約 平成25年度定期修繕工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 予定金額を1回目に上回り、2回目で落札されているが経緯はどうなのか。特命随契なのか？ 	<p>処理施設は性能発注であり、生産点数が少ない施工業者の独自技術の製品が多い。不測の事態に対処するためにも、施工業者の1者随契となる。積算は第三者機関で行っており、基準の査定率を掛け合わせたものを予定価格としているが、1回目では超過となったため再度見積もりを依頼した。</p>
<p>(10)随意契約 シカ用大型捕獲わな購入</p> <ul style="list-style-type: none"> 物品随契唯一の案件で、安くはないが有効性はどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 設置後1年のため、捕獲頭数としてはシカ10頭、イノシシ1頭の実績である。今後の展開は、旧町域で1機ずつ導入している。今後の実績で増減は考えていきたい。猟友会でメンテをしてもらい、自治会と農会で餌を用意してもらっている。機器についてはまだ行っていない。

別紙 2

委員会による意見の具申又は勧告（講評）

1. 今回の事案抽出の考え方

- ・ 応札金額が同額でそろっているもの
- ・ 応札金額に大きな差があるもの
- ・ 予定価格と最低制限価格が狭く不調となったもの
- ・ 最低制限に達しないため、不調におわったもの
- ・ 予定価格と最低制限価格の幅が広く
- ・ 不調となったもの
- ・ 高額の場合

2. 総括

- ・ すべて適正に入札が行われている。
- ・ 最低制限価格の制約は理解できるが、業者いじめではなく、この金額でできるのであればという案件が続くと何らかの改善が必要ではないだろうか。
- ・ ファシリティ・マネジメント（ ）の観点について、対応ができていないのではないか。資産の管理について部署を横串で考えるべきである。合わせて建築技師の確保も必要であるとする。

3. 今回の指摘事項

なし

企業・団体等が保有又は使用する全施設資産及びそれらの利用環境を経営戦略的視点から総合的かつ統括的に企画、管理、活用する経営活動（公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会のHPより）